

平成 19 年 11 月 2 日

近鉄川原町駅周辺総合整備事業の本格着手について

三重県と近畿日本鉄道株式会社では、連続立体交差事業による近鉄名古屋線川原町駅（四日市市）付近の高架化を柱とした近鉄川原町駅周辺総合整備事業について、11月1日に協定を締結し、このたび本格的に工事に着手する運びとなりましたのでお知らせします。事業概要は下記のとおりです。なお、連続立体交差事業は、道路整備の一環として三重県が行う都市計画事業です。

記

- (1) 事業名 近鉄川原町駅周辺総合整備事業（事業主体：三重県）
- (2) 目的 当該事業は、一体的なまちづくりの推進、治水安全度の向上及び踏切除却による東西交通の円滑化を図るため、連続立体交差事業、河川改修事業及び道路改良事業で行うこととし、3つの事業の総称を『総合整備事業』として推進することとしています。
- (3) 事業区間 四日市市元町～四日市市本郷町
- | | |
|----------|----------|
| 連続立体交差事業 | 約 0.7 km |
| 河川改修事業 | 約 0.8 km |
| 道路改良事業 | 約 0.4 km |
- (4) 施工区分 協定では、河川・道路（県管理）施設に関しては県が、鉄道施設に関しては近鉄が施工することとしています。
- (5) 総事業費 約 161 億円
- (6) 協定締結日 平成 19 年 11 月 1 日
- (7) 完成予定 平成 26 年 3 月 31 日